

国保税の納税通知書を発送します

■問い合わせ
本庁税務課市民税係
(☎34-2173)

国民健康保険の加入世帯へ、3年度の納税通知書を7月9日より順次郵送します。内容をご確認の上、納期限内に市役所納税課・各総合支所税担当窓口、金融機関、コンビニエンスストアまたはスマホアプリで納入をお願いします。制度改正については広報おうしゅう6月号をご覧ください。

3年度の保険税率

	医療分	支援金分	介護分
所得割	6.50%	2.50%	1.78%
均等割	19,800円	7,800円	6,600円
平等割	19,800円	7,800円	6,000円
課税限度額	63万円	19万円	17万円

- ・所得割…加入者ごとに前年の総所得から基礎控除額を差し引き、それぞれの率を乗じた額
- ・均等割…加入者1人当たりの額（定額）
- ・平等割…1世帯当たりの額（定額）
- ・課税限度額…年間の最大課税額

新型コロナウイルス感染症の影響による減免

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による減免申請を受け付けます。

国民健康保険の加入世帯の主たる生計維持者（世帯主など）が新型コロナウイルスの影響により、次の要件を満たす場合は、国保税の減免を受けることができます。

- 主たる生計維持者が死亡または重篤な状態となった場合 → 全額減免
- 主たる生計維持者の収入が30%以上減少*する見込みの場合 → 一部を減額

※国保税が一部減額される具体的な要件

次の①から④を全て満たす人

- ①事業収入や給与収入など収入別に見た場合のいずれかが、2年中の収入に対して3年中の収入が30%以上減収する見込み（持続化給付金など新型コロナウイルス感染症対策に係る給付金は含めない）
- ②前年の所得の合計が1千万円以下
- ③減収見込み以外の前年所得の合計が400万円以下
- ④①で減収する見込みの所得で所得割が算定されている（①で減収する見込みの所得が0円以下の場合には減免の対象になりません）

- ▶失業者への国保税負担軽減制度である「非自発失業軽減」に該当する場合は、この減免を受けることができません
- ▶昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響による減免を、「退職」や「事業の廃業」を理由に受けた人は、同じ理由で3年度の減免対象にはなりません
- ▶申請には3年度の収入が減収する見込みであることが分かる書類（帳簿や給与明細など）が必要です

減免割合や減免額の算出、2年度の申請などについては、納税通知書や市ホームページをご覧ください。その他の不明な点については、税務課へお問い合わせください。

市ホームページ▶



土砂災害に注意しましょう

■問い合わせ
本庁危機管理課防災保安係
(☎34-2236)
県砂防災害課
(☎019-629-5922)

局地的な大雨や台風が発生しやすい季節を迎えます。土砂災害から身を守るため、あらかじめ自宅周辺の土砂災害の危険性や避難経路、避難情報の入手方法などを確認し、いざというときに備えましょう。避難するときは、周りの人と声を掛け合って明るいうちに避難しましょう。

県土砂災害警戒区域等の指定・基礎調査結果公表状況▶



県土砂災害警戒情報システム（土砂災害の危険度情報）▶



2021年「土砂災害・全国防災訓練」の実施

【2021年キャッチフレーズ】
「避難の声かけ、安全の確認」



どんな活動をしているの？ ボランティアの声を紹介

読み聞かせ

活動が終わると、「また来てね」「楽しかったよ」と子どもたちが話し掛けてくれます。子どもたちとのコミュニケーションも楽しみです。



下校安全見守り



経験を生かして、「子どもたちの役に立ちたい！」という思いで参加しました。子どもたちは地域の宝！地域みんなで見守っていききたいですね。

家庭科の授業補助

PTAのお母さんたちがたくさん参加しています。活動後には子どもたちや家族のことを語り合うことも。都合に合わせて、気軽に参加できるのもいいですね。



図書のブックコート



意外と難しい図書のブックコート。先輩ボランティアに優しく、丁寧に教えてもらいながら取り組んでいます。子どもたちの元気な姿を見てパワーをもらっています。

季節の装飾作り



ボランティア同士の交流も楽しみの一つ。先輩ママから子育てのことを教えてもらうことも。コロナ禍で学校の様子を知る機会が減っていますが、活動を通して子どもたちの様子を知るいい機会になっています。

こんな活動もあります

- ・マラソン大会の見守り
- ・学校行事の受け付け補助
- ・昔あそびのお手伝い など
- ※学校によって活動が異なります



市ホームページ

始めよう！ ボランティアの声を紹介

地域で育もう！
未来を担う子どもたち



市では、学校の教育活動に地域の皆さんがボランティアとして参加し、学校や子どもたちを支える「学校支援地域本部事業」を実施しています。現在、150人を超える人が、この活動に参加し、子どもたちの学校生活をサポートしています。特別な資格は必要なく、「子どもたちの役に立ちたい」という思いがあれば、誰でも参加できます。毎回参加する必要はなく、仕事をしている人でも、休みの日など時間があるときに参加することが可能です。

地域を担う子どもたちを支える活動に参加しませんか。
参加するには
申し込み後、コーディネーターから活動日時・内容の連絡をします。
申し込み方法
電話または申込書（市ホームページに掲載）をメールで提出
問い合わせ・申込先
本庁生涯学習スポーツ課生涯学習係（江刺総合支所・☎34-2497、shousuop@city.oshu.iwate.jp）

活動の流れ

